

伯耆町児童生徒の「学力・生活」の状況

令和3年度『全国学力・学習状況調査』結果から

5月27日に『全国学力・学習状況調査』が実施され、8月31日には、小学6年生の国語、算数と中学3年生の国語、数学の調査結果が文部科学省から公表されました。その調査結果をもとに、伯耆町の児童生徒の学力と生活の様子についてお知らせします。

なお、この調査の目的は、全国的な教育施策の改善を図ることと、学校における学習と生活の指導の充実に役立てることです。また、この調査の結果は今年5月時点での児童・生徒の傾向を示すものです。

学力の状況

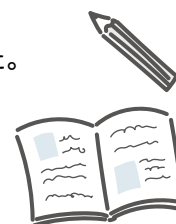
小学6年生・中学3年生ともに全国平均・県平均より高い

教科の概要

小学6年	全国	鳥取県	伯耆町	県平均との差	中学3年	全国	鳥取県	伯耆町	県平均との差
児童数(公立)	994,101	4,522	100	本年度	生徒数(公立)	903,253	4324	90	本年度
国語	64.7	64	68	4	国語	64.6	63	68	5
算数	70.2	69	71	2	数学	57.2	56	59	3

※県、町の平均点は、小数第1位を四捨五入して情報提供

この表は、本町の平均正答率を、全国および県の平均正答率と比較したものです。
小学6年生・中学3年生ともに、両教科で県平均・全国平均を上回る結果となりました。



生活の状況

◎自己肯定感をもつ児童生徒が多い

質問内容	【小学6年生】肯定的な回答(%)			【中学3年生】肯定的な回答(%)		
	伯耆町	全国	比較	伯耆町	全国	比較
自分には、よいところがあると思いますか	91.0	76.9	14.1	80.0	76.2	3.8

「自分にはよいところがありますか」という質問に肯定的な回答が多く、自己肯定感、自尊感情の高い児童生徒が多い傾向が見られます。これは、各家庭・地域や学校で児童生徒と関わる大人が、児童生徒の言動を認め、ほめる場面や、子ども同士がお互いを認め合う場面が多いことが要因として挙げられます。

◎地域と関わりをもつ児童生徒が多い

質問内容	【小学6年生】肯定的な回答(%)			【中学3年生】肯定的な回答(%)		
	伯耆町	全国	比較	伯耆町	全国	比較
今住んでいる地域の行事に参加していますか	79.0	58.1	20.9	56.7	43.7	13.0
地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	53.0	52.4	0.6	50.0	43.8	6.2

「地域の行事に参加している」と回答した児童生徒の割合が高くなっています。

これは、町内すべての学校をコミュニティー・スクール（学校運営協議会を設置する学校）に指定し、地域とともにある学校づくりをすすめ、多くの方からご支援をいただいていることも大きな要因と考えます。

地域に貢献したいという気持ちをさらに高めていけるよう、児童生徒がより主体的に地域と関わったり、学校での取り組みを地域の皆さんに発信したりし、「地域とともにある学校づくり」のための取り組みの充実を図ります。

◎家庭学習の時間に課題、引き続き学習習慣、読書習慣の形成を

質問内容	【小学6年生】肯定的な回答(%)			【中学3年生】肯定的な回答(%)		
	伯耆町	全国	比較	伯耆町	全国	比較
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	72.0	74.0	▲ 2.0	62.2	63.5	▲ 1.3
学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（塾等を含む）（1時間以上）	21.0	26.9	▲ 5.9	28.9	41.8	▲ 12.9
学校の授業以外に、普段（月～金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか（10分以上）	61.0	61.2	▲ 0.2	44.4	50.1	▲ 5.7

校外での学習時間は、小学6年生・中学3年生ともに全国平均との差が大きく、経年的に見ても、依然課題と言えます。

また、計画を立てて勉強をすることや1日10分以上読書をするについては全国平均を下回り、課題と言えます。特に読書習慣は、全ての学習の基盤となる読む力を培う上で非常に大切です。引き続き、各家庭の協力を得ながら、全校体制、全町体制で学習習慣、読書習慣の形成が必要と考えます。

◎携帯・スマートフォン、ゲーム等、家庭での時間の使い方に留意を

質問内容	【小学6年生】肯定的な回答(%)			【中学3年生】肯定的な回答(%)		
	伯耆町	全国	比較	伯耆町	全国	比較
携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	65.0	70.1	▲ 5.1	53.4	67.9	▲ 14.5
普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）をしますか（1時間未満）	23.0	23.7	▲ 0.7	25.5	20.3	5.8

携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っている児童生徒の割合が、全国平均を大きく下回りました。また、普段「1日あたりのゲームの時間が1時間未満」と回答した小学6年生・中学3年生ともに約4分の1でした。多くの児童生徒が平日1時間以上ゲームに費やしていることとなります。

家庭での時間の使い方について、今一度見直す必要がありそうです。



||||||| ま と め |||

学力面では、全国平均、県平均と比較すると概ね良好な状況が見られました。

各学校はもちろん、中学校区等で凡事徹底や学習方法の共有など、小中一貫教育での系統的な取り組み、地域学校協働活動やコミュニティー・スクールなどの家庭や地域と連携した取り組みの成果が現れ始めていると思います。

質問調査の結果からは、対象者が毎年変わる調査ではありますが、経年的に見ていくと、伯耆町の良さと課題が見えてきます。

良い面としては、地域の皆さんから多くの支援をいただいていることもあり、地域との関わりを持つ児童生徒が多く、地域に対する関心も高まってきていることが伺えます。

一方で、家庭学習の時間、ゲームの時間については、継続して課題となっているところです。「携帯やスマホなどの使い方について家の人と約束したことを守っている」という質問に対する肯定的な回答の割合が低く、家庭での有意義な過ごし方については、今後も学校と家庭とで連携し、町全体で改善の取り組みを進めていく必要があると考えます。